

COMPASS 発達支援センター吉富 Kind

令和5年度

事業所における自己評価結果（公表）

討議日：令和5年10月11日

公表日：令和6年4月19日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	6		法令の基準は満たしております。指導訓練室、フリースペース、相談室と分かれており利用児童が十分なスペースで療育できるようにしております。	
	2	6		国の定める配置基準にしたがい配置をしております。また基準以上の有資格者、専門職も配置しております。	
	3	6		生活空間は、本人にわかりやすく構成化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	
	4	6		生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、児童たちの活動に合わせた空間となっている	
業務改善	5	6		職員が揃う時間に業務連絡など、話し合いの時間を設けております。また、個別支援会議を実施し、支援の改善点や療育の計画などすべての職員が情報を共有できるようにしております。日の引継ぎ時や毎月のリフレクション会議を通じて、業務を振り返り、改善に努めております。	
	6	6		年に1回アンケート調査を実施し、保護者様からいただいた貴重なご意見やご要望を真摯に受け止め、今後の支援に役立てております。集計内容については職員間で共有し、今後の支援につながるよう役立てております。	
	7	6		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	8	6		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	9	6		動画の視聴研修やオンライン研修をおこない、常時職員の資質向上を目指しております。また外部の研修にも参加いたしております。	
適切な支援の提供	10	6		児童発達管理責任者が中心となり、関係機関と連携をとり、利用児童の現状に合った支援計画書を作成しております。また、定められた期間ごとに計画内容の見直しをおこなっております。	
	11	6		社内共通様式で標準化されたアセスメントシートを使用しております。	
	12	6		保護者様のご意向や利用児童の特性を十分に考慮し、適切に選択・使用するようにしております。またさまざまな情報をもとに、より具体的な支援がおこなえるよう努めております。	
	13	6		利用児童への支援は、支援計画にそっておこなわれるように支援会議を行い、職員間で情報の共有を行っております。また利用児童の特性にあわせた、具体的な支援内容の検討や変更を定期的におこなっております。	
	14	6		利用児童の日常生活・特性にあわせた療育などを職員同士で話し合い立案・実施しております。活動プログラムについても全職員で企画しながらチームで取り組んでおります。	
	15	6		プログラムが固定しないように季節に応じた活動など、職員が意見を出し合い企画しております。利用児童や保護者様の声を反映し、また、有意義な時間を過ごせるように考えております。	
	16	6		個別・集団の両活動を取り入れた支援計画を作成し、特性に沿った支援を行っております。	
	17	6		ミーティングを行い、利用人数やその日の予定、役割分担の把握をしております。情報共有できるよう連絡帳やホワイトボードなどで確認をおこなっております。	
	18	6		ミーティングを行い、利用人数やその日の予定、役割分担の把握をしております。情報共有できるよう連絡帳やホワイトボードなどで確認をおこなっております。	
	19	6		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	
関係機関や保護者様との連携	20	6		定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	
	21	6		児童発達管理責任者に加え、他の職員が担当者会議に参加しております。	
	22	6		関係機関との会議には積極的に参加し、得た情報は支援に繋げております。	
	23	6		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	6		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	6		利用児童が所属していた事業所や園とは移行支援シートなどを活用し、情報共有をおこなっております。移行がスムーズに行えるよう、また利用していた事業所・園からの継続した支援ができるようにしております。	
	26	6		入学前には必ず支援会議や小学校を見学する機会を設けております。また学校関係者様をお招きし、対象児童の療育の様子や現在の状況、特性などをお伝えしております。利用児童が移行した際、スムーズに適應できるように情報共有と相互理解をはかっております。	
	27	6		感染症などの状況のみで、研修などには参加できておりません。	今後適切なアドバイスや研修が受けられるようにしてまいります。
	28	6		利用児童の社会参加や事業所での集団活動の中で成長を支援できるよう、児童クラブなど一般的な支援事業所と連携をとりながら、専門的な支援をおこなっております。	
	29	6		自立支援協議会子ども部会に所属しており、定期的な活動や研修に参加しております。	
保護者様への説明責任等	30	6		利用児童の活動の様子は連絡帳や送迎時にお伝えし、児童の発達や課題の状況について話す機会を設けております。	
	31	6		必要に応じて、いただいた相談に対して助言を行っております。	
	32	6		運営規程はいつでも閲覧できるように掲示しております。また、契約の際に保護者様に丁寧な説明をし、ご質問やご不明な点がないかなどを確認しながら行っております。	
	33	6		ガイドラインに基づいて支援計画を作成しております。保護者様へは支援計画の内容をお話するとともに専門的な言葉を使わずにわかりやすく説明することで、計画の同意を得ております。	
	34	6		連絡帳や送迎時に保護者様から子育てのお悩みをお聞きし、保護者様のお気持ちに寄り添えるよう、その都度適切なアドバイスをさせていただきます。	
	35	6		今年度は感染症流行の社会状況を鑑み、実施はしていません。	保護者様より開催のご希望がありますが、状況を見て実施を検討してまいります。それまでは、職員が橋渡し役となるよう情報の発信につとめてまいります。
	36	6		ご意見を受け付けた場合には迅速に対応し、職員間で話し合い、改善策を保護者様にご提案するよう努めております。また、苦情受付窓口と苦情解決責任者を配置しております。	
	37	6		COMPASS だよりを季刊発行しております。また、活動の様子や予定をお知らせすることもカレンダーを毎月お渡ししております。公式 Web サイトでも利用児童の成長をご紹介します。	
	38	6		個人情報などは厳密に保管し、鍵の取り扱いには十分に注意をしております。研修なども行い決して個人情報が漏れないよう、細心の注意を払っております。	
	39	6		個々に合わせた情報伝達ツールを活用し、円滑にコミュニケーションがとれるよう努めております。	
非常時等の対応	40	6		現在、地域住民を招待する取り組みはできておりません。	機会があれば、可能な範囲での取り組みを検討してまいります。
	41	6		各種マニュアルは、だれでも閲覧できるように設置しております。また、定期的な利用児童とともにマニュアルに則った訓練を実施しております。	
	42	6		避難訓練は年間計画を立て、児童も参加して年4回定期的実施しております。	
	43	6		標準化されたアセスメントツールを使用し、状況の把握につとめております。また、連絡帳などを通して状況の変化も確認させていただいております。	
	44	6		指示書がある利用児童については保護者様から情報をいただき、各利用児童のアレルギーに関しては、全職員で周知しております。	
	45	6		都度、報告書を作成していつでも閲覧できるようにしております。共通理解をはかり、事故防止につとめております。	
	46	6		虐待防止委員会を設置し、定期的に研修に参加することで、虐待防止への認識を深めております。	
	47	6		利用契約書に原則として身体拘束の禁止を掲載しておりますが、利用児童の安全のため、やむを得ず必要となる場合には、保護者様の同意を得て支援計画に記載するようしております。	今後も原則として身体拘束は行わない姿勢を大切にして、やむを得ず必要な場合は、事前に保護者様の同意を得て、かつ支援計画にも明確に記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。